

開館 1 周年記念に「語る会」

「いのちの山河」で深澤村長の娘・杜史子役を演じた女優の若井なおみさんもお話ししてくれます。



「いのちの山河」に 出演の若井さんも

昨年10月19日にオープンした深澤晟雄資料館は、この10月で開館1周年を迎えます。深澤晟雄の会では1周年記念事業として10月17日午後1時30分から沢内老人福祉センターを会場に「深澤村長とふるさとを語る」と題する集い(語る会)を開催します。この「語る会」では、3人の方々をお迎えして「生命村長」を語り「いのち満ちるふるさと」を語っていただきますながら、これからの資料館の果たす役割を見つめようと企画されました。町民皆様さんご参加をお待ちしています。



岩手県警察に40年勤務し、昭和60年3月退職。このほど西和賀回顧録「峠路」を出版した高橋日出夫さんには「命のふるさと」を語っていただきます。

連休は九州からも

県外人館者が4割

秋の連休となった9月19日から23日の資料館入館者は67人で、県外から29人・43%を占めました。遠くは九州の福岡県をはじめ、鳥取、兵庫などのほか、東京、神奈川、埼玉など首都圏、東北は秋田、宮城、山形などで、最も多かったのは秋田県の13人でした。県外からの来訪者は直接資料館をめざす者が多く、資料館スタッフは入館者や電話での問い合わせに、町内外の観光案内サービスも求められています。

完成上映に東京からも

「いのちの山河」感動呼ぶ

2日間で1500人が入場

町民の多くがエキストラ出演した深澤村長の
生命行政を描く劇映画「いのちの山河」が完成し、
全国上映に先がけて完成披露上映会が10月1日
と2日の両日、銀河ホールで行われました。10月
の資料館開館記念月を飾る幕開けともなりました。



上映会初日の
満員御礼の銀
河ホール。

「いのちの山河」上映案内

- 10. 7 東京都台東区生涯学習センター
- 10. 8 千葉県船橋市民文化ホール
- 10. 10 群馬県前橋市・群馬会館
- 10. 11 大阪市・エルおおさか
- 10. 13 静岡県・サールナートホール
- 10. 15 岡山市民会館
- 10. 17 東京都あきる野市秋川キララホール
- 10. 20 宮崎市民文化イベントホール
- 10. 21 静岡県・三島市民文化会館
福岡市立早良市民センター
- 10. 24 静岡市清水文化センター
静岡県浜松市・シネマイーラ
- 10. 29 さいたま市埼玉会館
- 11. 1 鳥取県倉吉市・倉吉未来中心
- 11. 2 群馬県高崎市・群馬音楽センター
- 11. 3 福岡県柳川市・水の郷ホール
- 11. 5 滋賀県大津市生涯学習センター
- 11. 7 仙台市民会館
静岡県浜松市雄踏文化センター
三重県総合文化センター
静岡市・サールナートホール
- 11. 8 鳥取県鹿野町総合福祉センター

上映会は両日とも午前・午後・夜の1日3回行われ、2日間の入場者は1500人を数えました。完成披露上映会とあつて、県内外からも駆けつけて盛況のうちに終わりました。2日午前の上映会には東京から26人の団体がバスで駆けつけたほか、2日間を通してロケ地となった横手市や北上市からもバスや自家用車で多くの人々が訪れました。

東京から来たという60代の女性は「深澤村長の生きたこの地で観ることのできた感激と全編涙なしでは観られない感動の渦に包まれました」と興奮気味の口調で話していました。

西和賀町での上映会が成功裡に終えたことは、今後の県内外の上映運動に弾みがつくものと期待されています。すでに映画の完成を待ちかねたように全国各地で上映が始まりました。11月上旬までの上映予定は別掲のとおりです。会場に近い親戚・知人などにお知らせいただければ喜ばれるものと左欄にご案内しました。

お客様との 出会いから

資料館スタッフとお客様との出会いで生まれる感動のドラマ…。

小さな入館者たち

資料館に一冊の感想ノートがある。そこに、小さな入館者たちの贈り物がある。赤・青・黄色、緑に紫。小さな字、大きな字がおどっている。リボンがたくさん描かれた絵も色を加えて伸びやかに描かれている。

ほんとうに子どもたちにとつてこのノートは、小さなキャンパスなのかも知れない。あふれるばかりのエネルギーがたまっている。見ていただけでうれしくなってしまう。

そんな子どもたちの贈り物がノートにポトンと落ちて波紋を広げる。その波紋は、いつまでも輝きを増し続け、次の小さな来客者たちをいざなう広がりのように思えてならない。

(小西)